

福岡県中学硬式野球育成会概要

令和6年7月吉日

活動趣旨

福岡県中学硬式野球育成会は中学3年生が中学野球引退から高校進学までの期間に硬式球を使った練習や試合の機会を創出します。軟式野球部出身者の硬式球への移行や、練習不足による故障を防ぐことを目的とします。沖縄県では2000年頃から活動がスタート（NPO法人沖縄ジュニア育成会）し、現在は50を超える団体が活動をサポートしており、福岡県では平成29年10月にスタート致しました。

福岡県（特に福岡市近郊）の中学3年引退組の現状

福岡県には硬式・軟式を含め420弱の中学野球チームが存在し、毎年、およそ4000名以上の選手が活動の場を喪失していると推測されます。また、硬式球を使用できる場所（球場や運動公園）の減少、硬式用具の経済的負担、仲間の募集、参加頻度の格差、安全性の確保など、課題は多くサポート活動は進んでいませんでした。

課題と対策

受験生対象の活動ということもあり参加費を月謝制ではなく都度払い制にすることで1回からの参加を可能にしました。保護者の負担は会場までの送迎以外にはございません。

育成会活動を支援する協賛者を募ることで選手の負担軽減を実現しています。

「高校野球への架け橋」というコンセプトを守り、責任を持って運営管理を行います。

福岡県中学硬式野球育成会の特徴

1. 必要最低限を提供します

育成会は「グラウンド」「道具」「人」という最低限の環境を提供し「指導よりも経験に価値のある活動」を目指します。個人の技能向上を目指す野球塾などとの掛け持ちも可能です。

2. 指導者（監督）をおかない

育成会発案時、指導者（監督）についての課題がありましたが、育成会は「チーム活動」ではなく、あくまでも高校野球への橋渡しをする「プロジェクト」であるため、指導者をおく必要性はないという考えに至りました。

指導者をおかないから指導をしない訳ではございません。

3. キャスト（野球経験者）をフル活用

特定の指導者を設定しないかわりに野球経験豊富な大人達（キャスト）と選手との交流機会を作ります。

キャストは指導者ではないので強制力はありません。

人によって考え方も様々です。

選手は積極的に質問し試行錯誤することで多くの学びを得られます。

技術力・コミュニケーション能力の向上、野球人生への向き合い方、道具を大切にすることの意味など、キャリア教育の一環として社会性を学べる場所を目指します。

4. 選択の自由を増やす

指導者をおかない分、専門家による講座などを開催し、学びの選択の自由を増やします。（自由参加）

例：投手教室、打撃教室、守備教室、捕手教室、走塁教室、トレーニング教室、メンタルトレーニング教室、グラブメンテナンス教室、栄養学教室など

主催 NPO法人ふくおかスポーツ応援隊

協力団体 ☆部活ガンバ（問合せ窓口） ☆ボールハウス（施設協力） ☆コビーズ（運営）

事務局 〒812-0882 福岡県福岡市博多区麦野2丁目13-27 コビーズ内